

◇感染症：肺炎、誤嚥性肺炎、肺真菌症、肺結核、非結核性抗酸菌症、膿胸、胸膜炎など

・高齢化に伴い、誤嚥性肺炎の症例は増えています。必要に応じて、嚥下機能の評価、嚥下障害のリハビリテーションを行っています。外来で対応可能な軽症肺炎から人工呼吸換気が必要とする重症の肺炎まで幅広く診療しています。

・非結核性抗酸菌症は中高年の女性を中心に増加傾向です。必要な症例には薬物療法の導入を行っています。

・外来で結核が疑われる症例の確定診断をしています。排菌している活動性肺結核は確定診断された段階で専用設備のある医療機関へ紹介しています。退院後は引き続き当院での通院治療が可能です。